

■ 食品栄養学科のアドミッションポリシー

■ 学科のめざしているもの

本学科では、リベラル・アーツ・カレッジとしての本学の性格を大切にしながら、人間性豊かな、総合力のある管理栄養士の養成をめざしています。入学直後のキリスト教科目や教養科目は人間についての根本的な理解を深め、さらに人や栄養に関する医学や生命科学を学び、栄養の専門家としての礎を築きます。そして、現場での実践力を鍛えるために、さまざまな応用・臨床系の専門科目を勉強します。これらのカリキュラムを履修することにより、自ら学ぶ姿勢を修得し、人間としてバランスの取れた管理栄養士の養成を行います。

■ 上記の教育目標をかかげて、食品栄養学科ではこのような人を求めています

食を通して人々の健康に奉仕し、また、病気からの回復を促すのが管理栄養士の職務です。本学科では、人間や栄養に関する科学に興味をもち、人と積極的に関わり、人間を理解しようとする気持ちをもった学生の入学を期待しています。

■ そのために、高校での学習内容については、次のことを求めています

管理栄養士としての専門性を修得するうえでは、理科系の科目が重要になることはもちろんですが、豊かな人間性を伸ばしていくうえでは、高校でのさまざまな科目が役立ってきます。高校の授業を偏りなく学習しておいてください。